

「柏市図書館のあり方（案）」の更新について

あり方の検討をスタートしてからこれまで、参加者の皆さまから、多くのご意見やご提案をいただきありがとうございました。たたき台として当初提案いたしました市の案（「柏市図書館のあり方（案）」H30.7.29）について、議論の積み上げと更なる深化のため、ここで一度更新することといたしました。今後も複数回の更新を予定しています。

今回、追加した主な内容については次のとおりです。なお、これまでいただきましたご意見等の詳細は、報告書として市のホームページで公開しておりますのでご覧ください。

P.2

【理念と方針の実現のための機能】

4. シビックプライド（地域への愛着・誇り・ふるさと感）の醸成機能

（追加）また、地域の活力には子どもの存在が不可欠であり、地域と子どもの交流機会の創出にも貢献します。

P.3

【理念実現の考え方】

2. ひと：職員

（追加）司書の資格を持つ職員だけでなく、これら多様な能力を持つ職員や、様々な分野で経験を積んだ職員を配置し、総合的な組織力の向上を目指します。

3. もの：施設

（追加）知的活動の成果を伝える場としても機能します。また、図書館の資料とインターネットの情報を併用して調査ができ、パソコンを使って成果をまとめられる環境も必要です。

4. もの：資料

（追加）図書館の特長は、網羅性と専門性であり、資料同士の関係性を発見できる物理的な空間を持つことだと考えます。

また、資料の提供だけでなく、講演会などの企画により市民の学びと交流を支援します。

5. こと：運営（学校図書館連携・支援）

（追加）さらに、子ども達への切れ目ない読書活動の支援や地域との連携のため、学校図書館と分館の融合を検討します。

6. こと：運営（地域資料の保存と活用）

（追加）柏の地域資料を保存し、活用することは、柏市でしかできない事業です。特に柏市の発展と重なる近現代の地域資料は、いま急速に失われています。この近現代から現在日々生み出されている資料を保存し、伝えていくことは、本市の図書館が積極的に担うべきものと考えます。

P.4

【課 題】

1. 今後厳しくなる自治体運営

（追加）施設の更新・統廃合・長寿命化などを検討する際には、将来の人口動態や財政規模を踏まえて、「あれもこれも」ではなく、持続可能な計画とすることが不可欠です。

（追加）専門業務や新しい機能への取り組みに割く時間を増やしていかなければなりません。

P.4

【市民協働でつくる図書館】

（追加）本市の図書館利用カードの登録率は年々低下を続け、現在2割を下回っており、市民の図書館離れが進んでいます。これからの図書館は、様々な背景を持つ多くの市民に利用されることはもちろん、さらに社会のために役立つ存在となり、図書館を利用することによって生まれる価値が、市民と地域のために不可欠であるということが、広く市民から評価されることが求められます。